

報告

関東支部会 (2015 年 7 月 5 日) 報告

飯塚礼子 (日食情報センター)

1. はじめに

2015 年 7 月 5 (日)、関東支部では、天文教育・普及に関する情報交換を目的とした支部会を開催しました。

日 時：2015 年 7 月 5 日 13:00～17:00

会 場：国立天文台 (三鷹キャンパス)

大セミナー室

(東京都三鷹市大沢 2-21-1)

主 催：天文教育普及研究会 関東支部

2. プログラム

12:30～ 受付

13:00～13:05 支部長挨拶

13:05～14:40 研究発表 1

14:40～14:55 休憩およびダジャック・アース実演 (自由見学)

14:55～16:25 研究発表 2

16:25～17:00 4D2U 見学

今回はテーマを決めず、広範囲に発表を募集した結果、14 件の申し込みがありました。リニューアルした国立天文台 4D2U 見学も人気でした。参加者は 55 名でした。



図 1 会場の様子

【一般発表】

- 国立天文台三鷹公開施設におけるユニバーサルデザインと多言語化の取り組み

白田-佐藤功美子 (国立天文台)

国立天文台三鷹公開施設において、一般の方々が利用できる場所、施設の改善内容のご紹介がありました。展示物としては太陽系ウォーキングに点字案内をテプラで行い、継続的に補修作業を行っていること。また、点字ガイドも片手で持ちながら歩けるように改善したこと。5 つの言語 (英語、中国語、韓国語、スペイン語) にて作成したこと。天文台歴史館では、1 階からカメラを操作することにより 2 階の様子がわかるように改善したことを報告くださいました。今後はスマートフォンにて音声ガイドができるように対応したいとのことです。

- 国立天文台ミュージアム構想について

縣秀彦 (国立天文台)

以下 3 点について、ご案内がありました。

1. 天文学のコミュニティについて、「安全保障法案に反対する学者の会」支援の依頼。
2. 天教の年会に参加しましょう。
3. 国立天文台ミュージアム構想について。

- 「第6回国際科学映像祭」と「第11回最新の天文学の普及をめざすワークショップ」

波田野聡美 (国立天文台)

科学国際映像祭のご案内がありました。そして、来年の運営のご協力のお願ひもありました。詳細はWebに掲載されるとのことです。

● 市民と調べる夜空の明るさ「ひらつか星
空調査隊」

塚田健（平塚市博物館）

光害を調査する目的で行われていた「全国
星空継続観察（主催：環境庁）」で、平塚はこ
の観測の定点観測の場所でした。環境庁の事
業としては既に終了となっていますが、平塚
市博物館では人の目で見みた観測を続けよう
と「ひらつか星空調査隊」を作り、平塚市民
の方々にお住いの所で観測をしていただい
ています。平塚市でも目視で観測できる星の等
級が地域によって違うことなど発表くださ
いました。

● 伝統的七夕ライトダウンキャンペーンにつ
いて

伝統的七夕ライトダウンキャンペーン
実行委員会

「明かりをけして星をみよう」を合言葉に、
旧暦の七夕（今年は 8 月 20 日）の夜空を見
ようとのことで、ライトダウンの呼びかけを
しています。まだまだ、参加者を募りますの
で登録して協力表明してくださいとのこと
です。Web から協力表明が行なえます。昨年
は天文台、プラネタリウムだけでなく、スー
パーマーケットなどからも表明していただ
いたようです。

● 小森幸正先生が進めた皆既日食ラジオ生中
継リレー

小川誠治（渋谷星の会）

昭和 11 年の日食は、NHK のアナウンサー
たちが日食経過の様子をラジオで日本全国リ
レー方式に中継したことを資料を基に発表さ
れました。どのように中継がされていたか、
解説の言葉などを発表されました。その資
料については一元管理されておらず、分散し
ており、収集には大変ご苦労されたようです。
当時、ラジオより新聞の方が人気があったの

で、ラジオの威厳を示すために行ったイベン
トだったとのこと。

● 南半球における学習投影のすすめ

田中真理（府中市郷土の森博物館）

ニュージーランドに生徒（中学3年生）が
学習で行く前に、プラネタリウムで「南天の
星」の授業を行ないました。その内容や帰国
後事前学習の成果があったかどうかについて
ご紹介いただきました。

● デジタル地球儀ダジック・アースを用いた
地球惑星科学のアウトリーチ活動の展開

津川卓也（情報通信研究機構）

デジタル 3 次元地球儀を使って地球・惑星
の映像を球体に投影する活動についてご紹介
がありました。コンテンツとして、雲画像、
夜の地球、オーロラ、全天画像（全天の星画
像）、月の満ち欠け、惑星、太陽画像など、
データーは Web から取得可能だそうです。

14:40～14:55

ダジック・アース実演

津川卓也さんが、デジタル地球儀ダジ
ック・アースの実演をされました。大きさの違
う球に様々な映像が映し出されており、皆さ
ん興味深く見学されていました。



図 2 ダジック・アースの発表
休み時間に実演がありました。

14:55~16:25 研究発表2

●楽しく夜店屋台と並んで星空観察会

==お祭り天文台==

森友和（入間の星空を楽しむ会）

観望会に人を集めるのは大変です。人が居る所で星空観測会を行なえば人集めに苦労することはないとのことで、様々なおまつり（地域のイベント）に望遠鏡を持参し星空観察会を開催しているようすや、開催方法についてのご紹介がありました。

●天文を通じた被災地支援 他活動報告

田中真理（府中市郷土の森博物館）

被災地に出向き移動プラネタリウムを行っているようすについてご紹介がありました。この活動は今年で6年目にあたり、今回は7か所で実施したとのことで、そのようすをご紹介いただきました。

●～高校生の宇宙への興味を0から1へ～

宇宙フリーマガジンTELSTARの挑戦

末澤卓（TELSTAR）

フリーマガジンにて、宇宙を広める活動のツールである「宇宙フリーマガジン」をご紹介いただきました。この活動のメンバーは大学院生、大学生で高校生をターゲットにしているフリーマガジンとのことです。今後の活動において他の団体等、連携を考えていらっしゃいます。

●天体観望会支援団体／個人のリスト作成と公開

水野孝雄（元・東京学芸大学）

天体観望会支援団体／個人の登録方法についてのご案内がありました。Webにて公開する準備をしていますとのことです。

●Communicating Astronomy with the Public(CAP)の紹介

矢治健太郎（国立天文台）

以前もご紹介くださいましたCAPの国際会議についてのご紹介です。来年はコロンビアで行われるそうです。

●誰に対して天文学を普及してきたか

小林弘（総合研究大学院大学）

天文学を普及してきた相手はどのようなグループかなど、独自の視点でみた天文普及のあり方についての発表がありました。

16:25~17:00 4D2U見学



図3 4D2U見学の様子



飯塚礼子